

D.ワイル『経済成長』第2版早見訳、修正(その1)

序文

p.xv 下から2行目

「と重要なことはレイチェルと私は幸せな」→

「と重要なことは、レイチェルは私と幸せな」

第1部

p.1 「国民所得、健康あるいは物質の保有量の」→

「国民所得、健康あるいは物資の保有量の」がいいのか、物質文明の意味を持たせているかもしれない。

第4章

p.102 13行目

「…政府が1974年くらいテレビで」→「…政府が1974年以来テレビで」

p.102 17行目

「…広範囲な計画にとりかかった。約4万」→「…広範囲な計画にとりかかった。約4万」

p.102 下から4行目

「出生率減少の政府政策はどれほど有効であったのか？」→

「出生率減少のための政府の政策はどれほど有効であったのか？」趣味の問題だが

p.103 5行目

「女性はもし生物学的に妊娠」→「女性がもし生物学的に妊娠」

p.104 2行目

「環境に変わるかに注目した方がいい。」→「環境を変えるかに注目した方がいい。」

第9章

p.235 18行目

“立っているからだ。”→“立っているからだ。”

p.246 7行目

「低生産性成長分野の成長が遅く」→「生産性の成長が遅く」

p.248 2行目

「ほとんどの人が望んだ」→「ほとんどの人が望んだ」「望んだ want」の訳は別でないか

第12章

p.329 図12.5 資料：~~Source:~~ Kaufmann, Kray, and Mastruzzi (2007) →Source:をとる

p.332 13行目

「イギリス陸軍の将校が指名あるいは昇進する主な方法は」→

「イギリス陸軍の将校を採用あるいは昇進させる主な方法は」

修正(その2)はまだないです。